

令和7年度全国学力・学習状況調査結果を説明する資料

札幌市立柏丘中学校

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◇「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ◆「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◇「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●事象や行為を表す語彙について理解すること。 ●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現すること。 ●書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。 ●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。 ●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。 ●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。	○本などから見付けた事象や行為、心情を表す語句を取り上げ、辞書的な意味を踏まえて、文脈上の意味や使い方を考える学習活動の充実。 ○話の内容を踏まえ、要点や根拠が明らかになっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているかなど、自分の考えが聞き手に分かりやすく伝わっているかを確認しつつ、伝えたい内容が適切に伝わるよう効果的に資料や機器を活用する学習活動の充実。 ○それぞれの情報をどの項目に入れ、どのような順序で示すかなど、意図を、明確にして文章の構成や展開を考え、書く学習活動の充実。 ○書く内容に沿って集めた材料を、意見と根拠の関係などに注目して、関連図家ながら整理し、提案や企画など相手や目的を明確にして自分の考えを簡潔に書く学習活動の充実。 ○伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切かなどを確かめて文章を整える学習活動の充実。 ○作品の場面を捉えてその構成を理解するだけではなく、登場人物の心情の変化にそって文章の流れを捉え、その展開を把握しつつ、あとの展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動の充実。

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ▼「数と式」 ・全国平均を下回っている。 ◆「図形」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◇「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ▼「データの活用」 ・全国平均を下回っている。	●素数の意味を理解すること。 ●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明すること。 ●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。 ●証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。 ●一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、x の増加量に対する y の増加量を求めること。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○整数を様々な視点で分類し、1より大きい自然数のうち、1とその数自身以外には約数をもたない数の集合が素数（1は素数に含まれない）であることを理解できる学習活動の充実。 ○変形した式からどのような数になるかを考察する、また新たに分かることを見いだす学習活動の充実。 ○①与えられた数を文字を使って表す。②指示された計算する。③その結果の式が条件に合うようにするために、どのように変形できどのような数になるかを考察する学習活動の充実。 ○予想した事柄が成り立つことを証明した後、仮定や仮定から分かる関係を図や証明から見いだして整理し、新たに分かる関係を見いだす学習活動の充実。 ○表などを利用しながら増加量や変化の割合の意味、一次関数の変化の割合が一定であることを確認した上で、変化の割合 $= y$ の増加量 $\div x$ の増加量の関係を利用して増加量を求める学習活動の充実。 ○問題解決の見通しを立てる場面において自分の考えた解決の方法（表・式・グラフなど）を表現したり、問題解決を振り返る場面においてどのような方法で解決したのかをまとめたりする学習活動の充実。 ○直感的な予想が正しいかどうかを判断する活動において、樹形図などを利用して確率を求めて考察する必要性を理解するとともに、判断の理由を確率を用いて説明する学習活動の充実。

【中学校理科】

今回の調査における課題

●電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いていること。

●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いていること。

●仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想すること。

●スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できること。



改善の方向

○身近な生活と関連をもたせることで生徒の興味・関心を向上させることを意識し、回路全体の抵抗の求め方や熱量の求め方を習得することのみを目的とするのではなく、これまで授業で行われた観察、実験を想起したり、これまで学習した知識を活用したりして、発生する熱量と直列回路・並列回路における合成抵抗とを関連付けて概念的な理解を深める学習活動の充実。

○直接観察することが難しい生物については、博物館等で公開している動画等を1人1台端末で視聴することで、「呼吸を行う」、「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、それらの特徴からいろいろな生物について考察する学習活動の充実。

○測定値の関係性を見いだすために表で示すのか、グラフで示すのか、両方用いて示すのかなど、どの表現方法で表現すればよいかを時間をかけて議論し、関係性の視覚化を行う学習活動の充実。

○身近な植物の外部形態や内部形態の観察を行い、観察記録などに基づき、花のつくりや葉脈の形状、茎のつくり、根のつくり等に共通点や相違点があることを見いだし、植物の体の基本的なつくりを理解する学習活動の充実。

【生徒質問調査結果から】

全国平均との差が顕著である項目を取り上げています。

▼「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の質問に「できている」「どちらかといえば、できている」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ下回っている。

▼「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ下回っている。

▼「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均を下回っている。

▼「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ下回っている。

▼「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ下回っている。

◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べほぼ同程度である。

△「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ上回っている。



＜課題と改善の方向＞

各教科の領域においては、別紙のように昨年度に比べると国語科において全国平均を上回っている領域が増えてきています。生徒質問調査結果より、今年度の3年生は、国語科に対して得意と考える生徒が多く、数学科・理科に対しては苦手意識をもっている生徒が多いです。今後、各教科で指導方法の改善が必要であり、「分かる、できる、楽しい授業づくり」に努め、基礎基本の定着・学習習慣の確立や学習意識の向上に尽力していくことが必要であると考えています。また、今まで習ったことを利用して課題解決に向けて自分で考え自分から取り組むことが苦手なようです。課題探究的な学習の場を増やしていく必要があると考えています。

生徒質問調査結果から考察すると、昨年度同様に自分に自信をもつことができていない生徒が多いようです。普段の学校生活、学校行事、総合的な学習の時間などの中で、生徒の声を聴くことを大切にして、よい行動・考えを認める場面や自分で決定することを増やしていく必要があると考えています。

「いじめは許されないこと」ということは本校生徒にある程度浸透していると考えられます。また、困りごとを大人に相談することに抵抗が少ないようです。今後も普段の学級指導、道徳の授業などで柏丘中学校憲章の「生命を大切にする」「みな平等である」「人の心を尊重する」「自分らしさをのばす」を軸に指導を継続していき、教育相談などの充実を図っていきたいと考えています。

今回の調査結果を基に、昨年度以上に各教科の成果と課題を学習活動に生かし、各教科を通じて得た力が将来につながるように一つ一つの学びを充実させていきたいと思っています。また、道徳や総合的な学習の時間、行事をはじめとする生徒会活動などの学校教育活動全般にも有効活用し、生徒の力をバランスよく育み、更なる学ぶ力の向上に努めてまいります。そして、子ども一人一人が「自分が大切にされている」という学校を目指していきたいと思っています。

今後とも本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。